

## 一般質問



### 交通問題と農業問題について



日本共産党湖南市議員団 ● 川波 忠臣 議員

**道路の騒音・振動問題について**

**問** 特殊車両通行許可申請の徹底を周知する考えについて

**答** 騒音・振動が軽減されるよう、特殊車両や大型積載車両のドライバーに対し、住宅街における徐行の徹底について、市のホームページ等に注意喚起文書を掲載します。

**運転手不足への対応について**

**問** 運転手不足への対策の考えは

**答** バスの路線体系を再編することで運転手不足に対応しています。事業者に対しては、引き続きバス運転手の確保に努めていただけるようお願いしています。

**問** 運転免許取得にかかる費用の助成について

**答** バス等の特定事業者に対する市独自の支

援は行っていないません。国や県の動向を注視し、法整備の状況に応じて検討していきます。

**湖南市農業の現状と課題について**

**問** 農業の現状について

**答** 本市のいずれの地域でも、高齢化が進みこれからの担い手に不安を抱えています。

**問** 課題と対策について

**答** 新規就農者相談窓口を設置し、相談や各種支援を行い、集落営農の組織化や法人化の推進、農地利用調整など、様々な施策や支援に取り組んでいます。

農業は、食料の安定供給のほか、景観保全、水田湛水機能など農地の持つ多面的機能を発揮させるため重要な役割を担っています。今後引き続き、農業者を支援していきます。



### 過去の一般質問について 横断歩道通学かばん



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

**問** 住宅地内交差点の横断歩道設置について

**答** 今回改めてこうした状況について、滋賀県公安委員会に相談しましたが、2年前と状況が変わっておらず、歩行者だまりのスペースがないと横断者の安全が守れないため、横断歩道の設置はできないとの回答を得ております。ハード対策は難しいものの、通学路の安全対策として、教育支援課と調整のうえ、団地内徐行の厳守啓発のため、注意喚起看板の設置を検討していきたいと考えております。

**問** ①通学かばんを軽くする取り組みについて

令和4年9月の質問で子どもたちの通学かばんが重いため軽くなるよう、質問しましたがいまだに重いです。今後の軽減策をお尋ねします。

**答** 前回の一般質問で

お答えしましたとおり、市内小中学校全てで、「持ち帰る必要のない物は極力置いて帰る」「宿題に関わる物など必要な物だけ持ち帰る」という基本的な考え方に変わりはありませんが、昨今1人1台端末を持ち帰る機会が増えているということになります。

**問** 通学かばんの統一化について

現在通学かばんは、ランドセル、ランリュック、リュックサックを使用していると見られます。市内小学校にどのような指導をされているか。お尋ねします。

**答** 統一している学校は4校で、学校ごとに決定されております。徒歩通学する児童にとって体へのフィット感や重さなど、体格や健康面にも配慮を行い検討されることが大切であると考えております。